

製品安全データシート (MSDS)

1. 化学物質及び会社情報

製品名: CYASORB® UV-3529 Light Stabilizer

製品概要: 置換アミン オリゴマー

用途: プラスチック添加剤

日本サイテック インダストリーズ 株式会社
〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC有明イーストタワー9階
Tel: 03-5564-3065

緊急連絡電話 (24時間対応) - 流出、漏洩、火災、汚染、災害等の緊急事態の連絡先:

日本 - +65 3158 1074 (Carechem24 Singapore)

アジア・太平洋地域:

オーストラリア - +61-3-9663-2130 or 1800-033-111

中国 (PRC) - +86 10 5100 3039 (Carechem24 China)

ニューギニア - +61-3-9663-2130

ニュージーランド - +61-3-9663-2130 or 0800-734-607

その他の地域 - +65 3158 1074 (Carechem24 Singapore)

カナダ: +1-905-356-8310 (Cytec Welland, Canada plant)

ヨーロッパ/アフリカ/中東 (Carechem24 UK):

ヨーロッパ, 中東, アフリカ, イスラエル - +44 (0) 1235 239 670

中東, アフリカ (アラビア語圏) - +44 (0) 1235 239 671

ラテンアメリカ:

ブラジル - 0800 0111 767 (SOS Cotec)

チリ - +56-2-247-3600 (CITUC QUIMICO)

その他の地域 - +52-376-73 74122 (Cytec Atequiza, Mexico plant)

アメリカ合衆国: +1-703-527-3887 or 1-800-424-9300 (CHEMTREC #CCN6083)

®は、米国内に登録された登録商標を示す。米国外では、登録済み、あるいは、申請中であるか、使用許諾を得て使用されている可能性もある。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性 (経口) 区分 4

急性毒性 (吸入) 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 区分 3 *

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 2 A

特定標的臓器/全身毒性-反復曝露 区分 2

水生環境急性有害性 区分 1

水生環境慢性有害性 区分 1

ラベル要素

**注意喚起語：**

警告

危険有害性情報

可燃性/爆発性の空気-粉塵混和物を形成する可能性がある。

長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ

吸入すると有害

飲み込むと有害

強い眼刺激

軽度の皮膚刺激

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き**安全対策**

環境への放出を避けること。屋外または通風のよい場所でのみ使用すること。取り扱い後には徹底的に手を洗うこと。この製品を使用中は、飲食せずまたタバコも吸わないこと。目/顔の保護具を着用すること。微細粒子を含有する。空気中に漂う粉塵は、静電放電、火花、火炎により着火する恐れがある。換気システムを含む全装置を接地する（アースを取る）こと。浮遊微粒子を吸入しないこと。

救急措置

漏出物を集めること。吸入した場合：被害者を新鮮な空気の所へ連れ出し、呼吸し易い姿勢で休ませること。気分が悪い場合には、POISON CENTER（毒物センター）または医師に連絡すること。嚥下した場合：直ちにPOISON CENTER（毒物センター）または医師/内科医に電話すること。うがいすること。皮膚刺激の場合：医師の指示や治療を受けること。眼に入った場合：数分間、慎重に水で洗うこと。コンタクトレンズを着用している人は、取り外しが容易であれば取り外すこと。眼の洗浄を続けること。眼刺激が継続する場合：医師の指示や治療を受けること。気分が悪い場合には、医師の診断/治療を受けること。

廃棄

内容物/容器は国及び地方の条例に従って廃棄すること。

*で示されているGHS区分はJISでは採用されていないが、国連GHS勧告で採用されている区分である。また、現在のGHSでは記載すると定められていない追加情報を記載している場合がある。

3. 組成、成分情報**有害成分**

成分 / CAS 番号	%	化審法番号
置換アミノオリゴマー 193098-40-7	>= 98	-

4. 応急措置

眼に入れた場合:

直ちに多量の流水で最低15分間洗うこと。症状が改善されない場合には医師の診察を受けること。

皮膚への接触:

直ちに多量の流水と石鹸で洗うこと。

飲み込んだ場合:

飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。医師の指示のもとでのみ嘔吐を促すこと。意識のないものには決して口から物を与えてはならない。

吸入した場合:

新鮮な空気のある場所に移すこと。もし呼吸が困難なら、酸素吸入を行うこと。症状が改善されない場合には医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤:

水噴射または水噴霧、二酸化炭素あるいは粉末消火器を使用すること。

保護具:

消防士及びその他本製品に暴露する可能性のある者は、自給式呼吸器を着用すること。完全防火保護衣服を着用すること。第8節(暴露防止及び保護措置)を参照のこと。

特別な危険性:

本製品の粉塵は空気中で特定の濃度範囲において可燃性の混合気を形成し、着火源が存在する場合、粉塵爆発を起こす可能性がある。

6. 漏出時の措置

人体への予防措置

暴露レベルが不明の場合には、認定された陽圧自給式呼吸器を着用すること。暴露レベルがわかっている場合には、暴露レベルに応じた認定された呼吸器を使用すること。適切な保護具については第8節(暴露管理/人体保護)を参照のこと。

漏出物の処理方法:

これをきれいに掃き集めて廃棄物処理容器に入れる。

漏出のあった場所は水で洗い流すこと。残りは、防爆型の真空掃除機又は機械的排気換気設備に接続したホースで集めること。こぼれたものを水路に流してはならない。集めた物質は、漏出の恐れのない埋め立てや焼却で処分すべきである。

環境的予防処置:

環境汚染を防ぐための適切な漏出防止策をとること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

7. 取扱い及び保管上の注意

注意事項 : 眼との接触を避けること。微細粒子を含有する。空気中に漂う粉塵は、静電放電、火花、火炎により着火する恐れがある。換気システムを含む全装置を接地する(アースを取る)こと。粉塵を除去するため、取り扱い場所を充分換気すること。取り扱い後は、十分に洗浄すること。

取扱い時の特別な注意事項:粉塵が堆積しないよう環境を良好に管理しておくこと。粉塵爆発危険等級-2 本物質は爆発に対する換気の諸基準(例:NFPA)による災害が拡大する可能性がある。

保管 :
注意事項は特になし。

貯蔵温度:該当せず

8. 暴露防止及び保護措置

管理項目 - 管理濃度及び暴露限界値

データなし

設備上の対応

本物質を密閉系で使用できない場合には、暴露管理上、周囲を十分に囲い込み、局所排気を行うこと。

呼吸器官保護:

吸入による暴露の可能性のある操作には、認定された有機化合物蒸気用高性能微粒子捕捉フィルターカートリッジの付いた全面型呼吸装置を用いること。吸入による暴露の恐れのない場所では、呼吸保護装置は必要としない。全面型呼吸保護具により眼及び顔面を保護すること。

眼の保護:

化学薬品用ゴーグルや顔面シールド等の眼/顔面用保護具を着用すること。暴露の可能性のある領域には洗眼器及び安全シャワーを備え付けることが望ましい。

皮膚の保護:

皮膚接触を避けること。非透過性手袋及び適切な保護衣服を着用すること。

付記:

本製品の使用時には、食品、飲料、タバコ等を所持したり、保管したり、飲食・喫煙しないこと。飲食または喫煙前に石鹸及び水で顔と手を十分に洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

色:	亜白色
外観:	パステル
臭気:	無臭
沸点:	知見なし
融点:	85- 95°C
蒸気圧:	@ 20°C無視できるほど僅かである
比重:	1.096
蒸気密度:	知見なし
揮発分パーセント(重量基準):	<0.5
pH:	該当せず

9. 物理的及び化学的性質

空気中での飽和濃度(体積基準%):	該当せず
蒸発速度:	該当せず
水への溶解度:	0.00061g/L@ 20°C
揮発性有機物((1999/13/EC):	<0.5%
引火点:	該当せず
燃焼限界 (体積%):	該当せず
発火点:	知見なし
分解温度:	>315°C
分配係数 (n-オクタノール/水):	知見なし

10. 安定性及び反応性

安定性:	安定
回避すべき条件:	知られていない
重合:	しない
回避すべき条件:	知られていない
回避すべき物質:	強力な酸化剤、酸、酸ハロゲン化物、ある種のハロゲン類
有害な分解生成物	一酸化炭素 (CO) 二酸化炭素 アンモニア (NH ₃) シアン化水素 (HCN) 窒素酸化物

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路: 経口, 呼吸器系, 眼, 皮膚.

健康に対する有害性

急性経口毒性: 飲み込むと有害.

急性経皮毒性: 該当せず.

急性吸入毒性: 吸入すると有害.

皮膚腐食性/刺激性: 軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 強い眼刺激.

呼吸器感作性: 該当せず.

皮膚感作性: 該当せず.

発がん性: 該当せず.

生殖細胞変異原性：該当せず。

生殖毒性：該当せず。

特定標的臓器毒性（単回暴露）：該当せず。

特定標的臓器毒性（反復暴露）：長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ。

吸引性呼吸器有害性：該当せず。

製品の毒性情報

急性毒性データ

経口	ラット	急性LD50	>500- < 2000mg/kg
経皮	ウサギ	急性LD50	>2000mg/kg
吸入	ラット	急性LC50 4 hr	~2.8mg/l

皮膚及び眼への局所的影響

急性刺激性	経皮	ウサギ	非刺激性
急性刺激性	眼	ウサギ	刺激性

アレルギー感受性

感受性	経皮	非感受性
感受性	吸入	データなし

亜急性/亜慢性毒性

経口	ラット	亜急性28日	15mg/kg/dayNOEL
経口	ラット	亜急性28日	150mg/kg/day有害

遺伝毒性

遺伝子の変異原性試験

サルモネラ菌を用いたエームズ試験 変異原性なし

有害成分毒性データ

N,N'-ビス（2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル）-1,6-ヘキサンジアミン及び（モルホリンと2,4,6-トリクロロ-1,3,5-トリアジンの反応生成物）のポリマー(CAS: 193098-40-7)の急性経口（ラット）LD50値は500mg/kg以上2000mg/kg未満である。急性経皮（ラット）LD50値は2000mg/kg以上である。急性4時間吸入（ラット）LC50値は、類似物質の試験結果より~2.8mg/Lと推定される。動物実験において、本物質との直接接触は皮膚刺激は起こさなかったが、中等度の眼刺激を起こした。モルモットに対する試験では皮膚感作は起こさなかった。代謝活性なしの条件でのエームズ変異原性試験では陰性であった。マウスリンフォーマ試験において変異原性はなかった。染色体異常試験では染色体異常誘発性や倍数性誘導活性を示さなかった。28日間反復経口投与（ラット）試験からNOEL 15mg/kg/dayが決定された。150mg/kg/dayでは全身毒性の兆候が観察された。

12. 環境影響情報

水生生物に対し非常に強い毒性を有し、水生環境に長期的な悪影響を及ぼす可能性がある。
提供した生態学的情報はすべて、類似の構造の製品にて実施した値である。本物質は易生分解性ではない。

藻類の試験結果

試験: 成長阻害試験 (OECD 201)

試験時間: 72hr

種: 緑藻 (*Selenastrum capricornutum*)

>0.15mg/l EbC50

>0.15mg/l ErC50

水溶性が乏しいので、実際に得られる最高の濃度
限定された水への溶解度による最大達成可能試験濃度

魚類の試験結果

試験: 急性毒性試験、淡水 (OECD 203)

試験時間: 96hr.

種: ニジマス (*Oncorhynchus mykiss*)

>1.5mg/l LC50

無脊椎動物の試験結果

試験: 急性遊泳阻害試験 (OECD 202)

試験時間: 48hr

種: ミジンコ (*Daphnia magna*)

0.64mg/l EC50

バクテリアの試験結果

試験: 呼吸阻害 (OECD 209)

試験時間: 3hr

種: 活性汚泥 - 細菌

>100mg/l EC50

濃縮性

試験: 生物濃縮性

種: コイ (*Cyprinus carpio*)

本物質は有意な蓄積性

はない

分解性

試験方法: CO₂発生試験: 修正Sturm試験 (OECD 301B)

試験時間: 28日 手順: 易生分解性試験法

0%

試験: 非生物分解

手順: その他

酸性、中性、塩基性条件下で、加水分解に対し安定である

試験: 吸着/脱着係数(Koc)

1.38 平衡Koc=23.8 土壤中非常に高い移動性

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

弊社は、もし許されるのであれば、本物質をリサイクル、回収、再使用することをお勧めします。処分が必要な時は、本物質が危険廃棄物に分類されている場合、認可された施設での熱処理または焼却処理を推奨します。地域および国の規制をすべて遵守すること。この製品の空容器の処分は、安全な埋立や焼却で行うことが好ましい。

14. 輸送上の注意

本節では、基本的出荷等級の情報を示します。個々の必要性については、適切な運送規則を参照下さい。

ADR/RID/ADN (危険物の国際道路輸送に関する欧州協定/鉄道による危険物輸送の国際合意)

国連危険物に該当するか。X

適切な輸送名: 環境有害物質、固体、n. o. s.

危険等級: 9

UN 番号UN3077

容器等級: III

必要な運送ラベル: Micellaneous (その他)

物質の専門名: 置換アミン オリゴマーを含む

トンネル制限コード: E

コメント: タンカーでの内陸水路輸送は行わない。本物質は国連危険物規制における環境有害物質、またはIMDGコードにおける海洋汚染物質である。

IMO (国際海事機関)

国連危険物に該当するか。X

適切な輸送名: 環境有害物質、固体、n. o. s.

危険等級: 9

UN 番号UN3077

容器等級: III

必要な運送ラベル: Micellaneous (その他)
Marine Pollutant (海洋汚染物質)

Marine Pollutant (海洋汚染物質)

物質の専門名: 置換アミン オリゴマーを含む

ICAO/IATA (国際民間航空機関 / 国際航空輸送協会)

国連危険物に該当するか。X

適切な輸送名: 環境有害物質、固体、n. o. s.

危険等級:9
容器等級:III
UN 番号UN3077
必要な運送ラベル: Micellaneous (その他)
物質の専門名:置換アミン オリゴマーを含む

15. 適用法令

化審法

消防法: 指定可燃物

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法): 該当せず

毒物及び劇物取締法: 該当せず

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物

メタノール (< 0.2 %)

危険物・引火性の物: 該当せず

リスト収載情報

日本: 本製品のすべての成分は日本の既存化学物質台帳 (ENCS) に掲載されているか、又は、台帳への掲載が必要ないものである。

米国 (USA): 本製品の全成分は、TSCA化学物質リストに含まれるか、または、TSCA化学物質リストに収載の必要がないものである。

カナダ: 本製品の全成分は、国内物質リスト (DSL) に含まれるか、DSLに収載される必要のないものである。

オーストラリア: 本製品の総ての成分はオーストラリアの化学物質リスト (AICS) に収載されているか、又は、AICSに収載が必要ないものである。

中国: 本製品のすべての成分は中国化学物質台帳に掲載されているか、又は中国化学物質台帳に掲載の必要がないものである。

韓国: 本製品のすべての成分は韓国の既存化学物質台帳 (ECL) に掲載されているか、又は、台帳への掲載が必要とされないものである。

フィリピン: 本製品のすべての成分はフィリピンの化学物質台帳 (PICCS) に掲載されているか、又は台帳に掲載する必要はないものである。

16. その他の情報

発行理由: 新規作成

16. その他の情報

その他:

2. 危険有害性の要約-注意事項

POISON CENTER (毒物センター) … 財団法人 日本中毒センター ([http://www.j-poison-ic.or.jp./](http://www.j-poison-ic.or.jp/))

【連絡先】 大阪中毒110番 072-727-2499

つくば中毒110番 029-852-9999

作成者:Randy Deskin, Ph.D., DABT +1-973-357-3100

ここに提供された情報は、保証を与えたり、特定の立場を代表するものではありません。弊社は、これについて何ら法的責任を負いませんし、また特許化された発明を、実施権の許諾を受けずに、実施する事を認めたり推奨するものでもありません。本資料は、あくまでも、使用にあたり、検討、確認用に提供されるものです。製品を使用される前に、必ずラベルの記載事項を、お読み下さい。
